

水産教育関連 その1

二八ヒ三メツリー三五六バチーキワートンボー八カジキーヤ〇、四六トン
 二九ヒ四メホー五二五トー五二五トー三四三〇ス二八、ハソク六、ーヒガシ三八レ
 ー一セ

これは一体何でしょう。まるで暗号。。。答えは、

28日3回目釣り針 1,356本 メバチマグロ1本 キハダマグロ1本
 トンボマグロ 18本 カジキ1本 約460Kg

29日4回目北緯 15度25分 東経 134度30分 水温 28.8度 速力 6.1ノット
 風向東 風力3 天候晴れ 1,011パスカル

と読みます。そう、電文です。

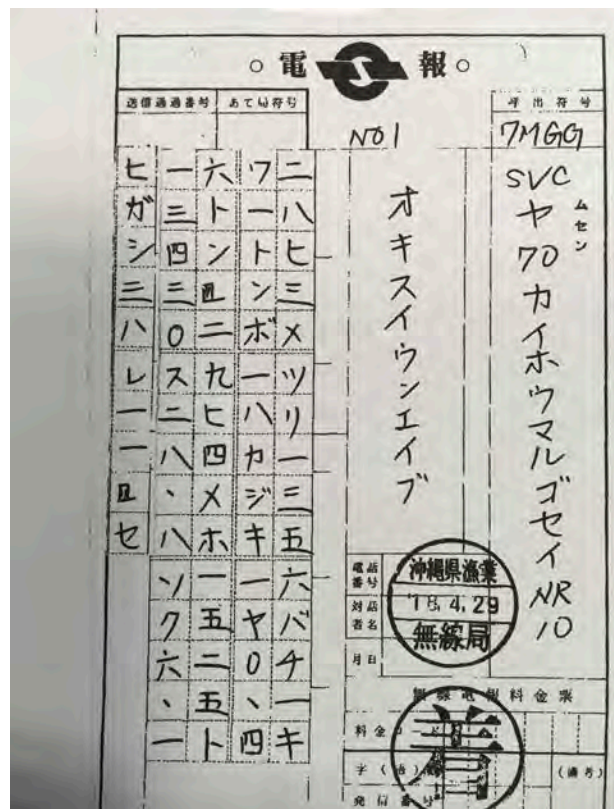
沖縄県に漁船登録をされている「海邦丸五世」からは、沖縄県漁業無線局に毎日定時連絡が入ります。「海邦丸五世」からモールス信号で送った文を無線局で受信し、電文に直した後FAXで学校(実習船運営部)に送られてくるのです。(下の写真)

短い文章の中に、その日の操業の様子や気象、海象の様子が要領よく記されています。これは、モールスが無線通信の世界においてはまだ世界共通の手段であることと、その通信技術の伝承と深い関わりがあることだと、実習船運営部の潮崎教諭からご教授いただきました。

また、本連絡は漁船登録をされている船が義務づけられている定時連絡であり、船の消息を把握する重要なやりとりなのです。

現在「海邦丸五世」が在る海域には沖縄県のマグロ漁船も多数操業しているものと思われます。本船は総トン数 499 トンの大型船ですが、本県のマグロ漁船の多くは 19 トン船と呼称される小型船が主流です。

大海原での操業はやはり、大自然相手の、素人が考えても厳しい環境下であることは想像に難くないものです。「鵬程万里なんのその 進取の大翼なみうちて 使命の海を統御せん」私たちが食卓でおいしくいただける食材は、獲ってきてくださる勇気と経験と努力に支えられていることをつくづく忘れてはならないと考える次第です。



大海原での操業はやはり、大自然相手の、素人が考えても厳しい環境下であることは想像に難くないものです。「鵬程万里なんのその 進取の大翼なみうちて 使命の海を統御せん」私たちが食卓でおいしくいただける食材は、獲ってきてくださる勇気と経験と努力に支えられていることをつくづく忘れてはならないと考える次第です。